

2019年  
7月9日

火曜日

《3面》

## ROEが高い中堅企業

	業 容	3年平均 ROE	
1	ウェルビー	障害者就労支援	64.3%
2	HEROZ	AI開発	50.9
3	リファインバース	廃材再資源化	47.8
4	ウェルス・マネジメント	不動産投資	45.9
5	エスユーエス	人材派遣	45.7
6	みらいワークス	プロ人材紹介	43.5
7	Orchestra Holdings	ネット広告	42.8
8	フォーバル・リアルストレート	通信OA機器販売	40.9
9	北の達人コーポレーション	健康食品販売	40.8
10	アイ・ピー・エス	通信サービス	40.4

## 人材やAI開発 平均ROE上位

中堅企業 直近3年間

# NEXT 1000

日本の中堅上場企業が経営効率に磨きをかけている。売上高100億円以下の上場企業約1000社「NEXT(ネクスト1000)」を対象に経営効率を示す自己資本利益率(ROE)の直近3年間の平均値を調べたところ、上位には人材サービスや人工知能(AI)開発の企業が並んだ。得意分野に特化して、効率的に利益を稼いでいる。

ROEは株主の持ち分である自己資本に対する純利益の比率。高いほど効率的に利益を稼いでいることを示す。直近から4年間継続して比較可能な企業を対象に調べたところ、NEXT1000企業の平均は12・8%。上場企業全体の10・8%を上回った。